

【令和2年11月度番組審議会 議事録】

1. 開催年月日 令和2年11月27日（金） 15時00分～16時00分

2. 開催場所 八尾市文化会館プリズムホール 4階 会議室2

3. 委員の出席

番組審議委員総数	5名
出席委員数	5名
欠席委員数	0名

放送事業者	社 長	根木 幸男
	総務部長	比良 純高
	業務部長	鈴木 昌宏
	総 務	村田 季世子

4. 議 題 1) 案件 「安中放送局」  
2) その他 「コミュニティ放送局の再免許にあたっての要請」について

5. 番組概要 放 送 日：2020年9月26日（土） 13：30 ～ 約20分

番組について

放送形態

収録番組（学校にて収録した素材を編集。出来るだけ手を入れない様になっている）

業務部（編成）より

この番組は、FMちゃお2020リーディングキャンペーンの一環として企画「絆～放送局」を具体化したプログラムです。八尾市内の全小中学校へ参加を呼びかけ、応募された小学校を対象に、児童生徒さんにラジオ番組制作を実体験していただきました。

（2020年10月末現在 3小学校が番組制作体験に手を挙げて頂きました）

6. 審議委員からの意見

1) 案件

委員：・心休まる穏やかな気持ちで聞かせてもらった。

- ・番組制作に関わった5人の児童たちにとっては、とても良い経験、思い出作りになったと思う。
- ・FMちゃおの新しいリスナーを増やす良い機会にもなったと思う。児童の喋りがとてもしっかりしていた。
- ・児童同士の会話のやり取りも楽しかった。意義のある良い番組だと思う。

- ・構成としては、音楽とお喋りの時間の配分はどうだったのか。音楽をかけている間の児童たちの様子がどうだったのかが気になった。

委員：・児童がすごくしっかりしていて、素人とは思えないほど聞き取りやすい声と口調だった。

- ・男女の差がなく、お互いに「さん」付けで呼び合っていたことがよかった。
- ・原稿通りで「お便りです・・・」「お便りです・・・」という同じ口調でお便り紹介をしていたのが少し気になった。
- ・番組の中で、児童たちの大きな夢や、普段聞いている曲などが知ることができた。また、保護者をはじめ地域の人達が、知り合いの子供の声をラジオで聞くことができるのは大変嬉しいことではないかと思った。

委員：・素敵な良い番組だった。番組の企画がよかった。

- ・児童の個性が出ていて、児童が番組作りから参加していることがすごいと思った。
- ・癒しでありほっこりとした気持ちで聞くことができた。
- ・音がクリアで雑音がなくきれいな音で良かった。
- ・児童の自己表現能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を養うことに繋がると思う。放送を通してそれぞれが自己表現でき、それを後で自分の耳で確認できることが良いと思った。

委員：・児童たちがしっかりと話せていたこと、大人が聞いているような曲を選んでいたことに驚いた。

- ・台本はあったのか。あったのであれば、ちやおがどのくらい関わっていたのかが気になった。
- ・良い番組なのでもっと広がっていけばよいと思う。

委員：・内容も良く、リスナーを増やすという観点からみてもとても良い番組だと思う。

- ・オープニングの元気さは最高に良かった。
- ・児童がしっかり、きっちりしているが故に、型にはまった少し固いお便り紹介になっていたので、言葉の順番を変えてみたり、言葉に変化をつけていけばさらに良くなると思う。
- ・気持ちがのっている言葉と読んでいる言葉の違いが伝わってきたので、伝える技術が伴っていけばもっと良いものになると思う。

八尾市市政情報課：

- ・素晴らしい番組だと思う。これからも子供たちの声を流す機会をどんどん作ってほしい

本日お聞かせいただいたご意見を受け止め、今後もより良い番組作りに努めて参ります。

## 2) その他

再免許申請に伴い「コミュニティ放送局の再免許にあたっての要請」について主旨説明を行った。

## 7. 公表方法

今回開催された番組審議会内容は、公式HP掲載をはじめ、自社放送内広報および本社事務所へ閲覧用ファイルを設置いたします。